

北陸でヒナノシャクジョウが採集された

著者	鳥畠 昭信
著者別表示	Toribatake Akinobu
雑誌名	植物地理・分類研究
巻	39
号	2
ページ	78-78
発行年	1991-12-15
URL	http://doi.org/10.24517/00055897

○ 北陸でヒナノシャクジョウが採集された(鳥嶋昭信) Akinobu TORIBATAKE: *Burmanniea championii* Found in Hokuriku District.

ヒナノシャクジョウ *Burmanniea championii* THWAITES は北関東以南(北限産地:茨城県佐白山)に分布し、既知の産地は太平洋側で、日本海側に知られていない。ところが、私は石川県能美郡辰口町で発見した。日本海側で、まして北陸地方で発見されようとは思いがけないことであった。

産地はコナラ二次林で、探索の結果3株を確認した。付近に見られた植物はアオハダ、アカメガシワ、ウリカエデ、エゴノキ、オオバクロモジ、クルマバハグマ、コシアブラ、コバノガマズミ、サルトリイバラ、シシガシラ、シロサワフタギ、スギ、ソヨゴ、ゼンマイ、ツクシハギ、ツクバネウツギ、ツルアリドウシ、ナツハゼ、ネジキ、ノリウツギ、ハイイヌツゲ、ヒサカキ、ホツツジ、ヤブコウジ、ヤマウルシ、ヤマツツジ、ユキグニミツバツツジ、リョウブであった。

(〒923 石川県能美郡辰口町字松ヶ岡1-6。Matsugaoka 1-6, Tatsunokuchi, Nomi, Ishikawa 923)

○ 佐藤 卓 キナバル山の植物 平成3年7月29日発行。A 4判, 128頁。頒価3,000円+〒600円(〒939-05 富山市水橋的場195に直接申込のこと)。

キナバル山はボルネオ島の高山で、標高は4,101mである。マレーシア国サバ州に位置し、その自然は多様性に富んでいることで良く知られている。著者は1980年より2ヶ年、マレーシア国立大資源科学部に植物学講師として勤務したが、この期間中ならびに帰国後も再々訪ねて、多くの写真を撮影した。本書はそれらの中より精選し、8章の項目(第1章 キナバル山の植生帯、第2章 ランの宝庫、第3章 シャクナゲの世界、第4章 世界の巨花ラフレシア、第5章 食虫植物ウツボカズラ、第6章 山地林の植物、第7章 超塩基性岩地帯の植物、第8章 岩砕堆積地と岩盤上の植物)にしたがって紹介している。本書の頁をめくっていると、私は30年もの昔話であるが、正宗巖敬先生を隊長として、科研費の申請書をつくったことを思い出した。今ではこの時の情熱は消え失せてしまって、夢物語となってしまった。

○ 和田 清 ケヤキの森(新信濃写真風土記7)信濃教育会出版部(〒380長野市旭町1098)、平成3年6月5日発行。19×23cm, 92頁。定価2,500円+〒250円)

ケヤキの語源は“異(ケヤケ)木”から出たと言われる。うつそうとして繁り、ひときわ抜きで目立つ樹であるが故で、特に全国の鎮守の森には神木として崇められているものが多い。長野県では内陸部の雨量の少い、長野・上田・佐久・松本・諏訪・伊那盆地に集中して見られ、県指定天然記念物は3件、目通りの幹周が8m以上のものは20本もある。本書は著者が撮影したケヤキの写真集で、信州の自然に生きるケヤキの美しい景観や感性を再認識させてくれる。

○ 上野雄規編 北本州産高等植物チェックリスト 東北植物研究会(〒789-02宮城県白石市城北町7-28)、平成3年8月1日発行。B 5判, 309頁+索引55頁。頒価6,000円+〒410円。

本書は青森・岩手・秋田・宮城・山形・福島・茨城・栃木・群馬・新潟の10県から、1988年までに、自生・帰化・逸出として報告された維管束植物179科、1038属、4,228種(変種を含む)を、収録したもので、それらの分布が、編者の考案による模式的な地図で示されている。

○ 初島住彦 北琉球の植物 朝日印刷書籍出版(〒890鹿児島市上荒田町854-1)、平成3年3月発行。B 5判, 258頁+図版116頁。定価10,000円(送料を含む)。

本書は種子島・屋久島・トカラ列島の解説(1-53頁)、にその維管束植物目録(54~188頁)と文献目録(189~218頁)を加えたものである。申すまでもなく、この地域には周知の分布境界線である渡瀬線が通っていて、分布の南限または北限となる種類が極めて多く、植物地理学上興味ある所である。(里見信生)

○ 池上義信(監修)・石沢 進(編集)新潟県植物分布図集 第1~10集 登載植物および索引。46頁。限定500部。頒価(〒別)2,000円。

分布図集と判型も装訂も同じ、発行所も同じで、今までに出版された全10集の索引が第11集(本誌39巻30頁参照)と同時に発行された。内容は8部に分かれ、分布図集登載植物目録、分布資料(1~9)登載植物目録、各学名および和名索引、著者名索引、論説・解説・雑録の登載植物和名索引となっている。なお、付録として1990年現在の資料に基づき、ユキツバキ・ユキバツツバキ・ヤブツバキの新潟県内の分布図と標本記録のほか、全国的な分布資料もつけられていて、大いに参考になる。(清水建美)